

あなたは一人じゃない。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

ご協力をお願いします。

徳島県共同募金会

ホームページ

220号

October 2024

とくしま福祉広報

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel:088-654-4461 fax:088-654-9250
e-mail:office@tokushakyo.jp https://fukushi-tokushima.or.jp/

災害にも強い安心・安全な福祉の町づくりを目指して

令和6年能登半島地震により被害が発生した石川県輪島市において、災害ボランティア活動を行うため、このたび徳島県社会福祉協議会ではボランティアバスを運行しました。



活動レポート 家主さんは、地震のあと、自分でできる範囲の片付けをし、自宅で生活をされていました。話を伺うと、旦那さんを亡くしてからひとり暮らしのようです。癌を患い体調も良いとはいえないとのこと。[今日はいっぱい人がきてくれて、話ができうれしい。]と微笑みながら話されました。片付けがはじまると、何度も何度も「部屋の片付け全然できてなくて。そのままなのよ。笑わないでねっ。」と申し訳なさそうな様子。少しずつ片付けて置が見えてきたら、弾けんばかりの笑顔に。その時、重めの紙袋。メンバーの一人が「これ、どうしましょうか?」と家主さんに尋ねると、亡くした旦那さんが生前に勤めていたときの仕事道具だと話してくださいました。家主さんとメンバー皆で、地震ですれていた仏壇をきれいにし、心静かに目を閉じ、仏壇に手を合わせました。

家主さんが、誰かと話をすることで、笑顔になれる瞬間があったことを忘れてはいけないことを、皆で共有しました。

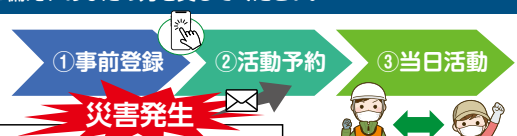
今回の震災により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今もなお不便な生活を余儀なくされた方々に心からお見舞い申し上げます。

この度の能登半島地震のみならず、本県においても南海トラフ地震等による甚大な被害が想定されています。発災の被害が広域かつ長期にわたる状況にあっては、住民相互の支え合いによるまちづくりが特に必要不可欠です。このことを踏まえ、徳島県内の社会福祉協議会では、平時の相互支援を踏まえた「災害ボランティア事前登録」の仕組みも設けています。ぜひご登録ください。

～ オールとくしまプロジェクト～ 災害ボランティア事前登録募集中

災害に備え、ボランティアの事前登録を募集します。もしものときに備え、あなたの力を貸してください。

募集対象	徳島県内在住の個人
活動内容	県内で災害が発生した際の災害ボランティア活動。
募集開始	随時 登録期間 年度ごとに募集。(年度更新)



- ① スマートフォンで左記QRコードを読み取り、事前登録。
- ② 災害発生後に活動日時・場所などのメールが届くので確認。活動希望する日時等を予約。
- ③ 届いたメールを確認し、当日、指定の時間に活動現場へ行く。



お問い合わせはこちらまで

徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 (電話：088-654-4461)

社協がゆく ～使命と役割を果たす～

このたび、徳島県社会福祉協議会は、1955年(昭和30年)の設立認可から70周年を迎えます。今後も、県内の市町村社会福祉協議会をはじめ、様々な機関・者とともに社会福祉に関する協議を行い、住民主体の理念に立ち、時代の変容に応じた「ともに生きる豊かな地域社会づくり」にむけて取り組んでまいります。本特集では、社協の役割と使命に基づく、県内の市町村社会福祉協議会の地域福祉実践をご紹介します。

地域福祉の実践現場から

社会福祉協議会は、住民や地域の関係者、関係団体との協働のもとで、地域福祉の推進を目的とした様々な活動を行っています。そのなかでは、子どもたちと地域住民が交流を深める場の創設などを通じて、地域全体の福祉力向上に努めています。

子どもたちが気軽に立ち寄り「ただいま」と言えるもう一つの場所。「今日も楽しかった」「また来たい」と子どもたちが自然に感じることができ、地域の中で「つながる場」「見守る場」「支え合う場」となっている「子どもの居場所」。身近な地域で、子どもたちのために何かできることはないだろうかという県民のみなさんの思いの反映された取り組みです。

例えば、毎月1回、勝浦町内で開催される地域食堂“やおはち食堂”。地域の団体などの有志が持ち回りで開催しており、年齢や居住地を問わず、誰でも参加できる交流拠点となっています。勝浦町社会福祉協議会による“なんでも相談会”も開催されています。また、鳴門市では、家庭の事情で孤立しがちな子どもを預かり、食事や学習を支援する“子どもの第三の居場所”が開設されました。運営母体のNPO法人山びこへるぶが、地域の様々な機関・団体、社会福祉協議会の参画を得て、居場所づくりに協働し取り組んでいます。



勝浦町“やおはち食堂”



鳴門市“子どもの第三の居場所”



とくしま **子どもの居場所づくり** 応援サイト

徳島県内の子どもの居場所づくりに関するサイトです。
活動団体の紹介に加え、団体向けの助成金情報等も紹介しています。

包括的な支援体制の構築に向けて

～生活福祉資金貸付制度と民生委員・児童委員活動～

生活福祉資金貸付制度は、戦後間もない昭和27年に、民生委員・児童委員の地域生活困窮者等への支援の取り組みとして全国的に展開された世帯更生運動に端を発し、昭和30年に貸付原資を公的に整備した本貸付制度(制度創設から平成2年までは「世帯更生資金貸付制度」として生まれました。その後も、市町村社会福祉協議会と民生委員・児童委員の連携による心配ごと相談事業の支援ツールとして活用されるなど、民生委員・児童委員の協力のなかで制度が運営されました。本制度を利用する人びとは、他の制度等では解決が困難な経済的ニーズや多様な生活課題・福祉課題を抱えている場合も多く、返済期間中においても支援が必要な状況に陥ることも少なくありません。このため、日頃から県内の社会福祉協議会と民生委員・児童委員は密に連携を図ることで、生活困窮者の自立支援の観点も含めて、一人ひとりに対する相談支援の充実に取り組んでいます。

地域における民生委員・児童委員の活動

見守り続ける支援

自宅で電動車イスを利用し生活しているが、ときどき自殺をほのめかすことがある。幾度となく介護保険の申請を勧めてきたが、利用申請には至っていない。定期的に訪問するとともに、散歩時に車の出入りや洗濯物を取り込めているかを確認したり、夜間に灯りがついているか等を見守ったりしている。

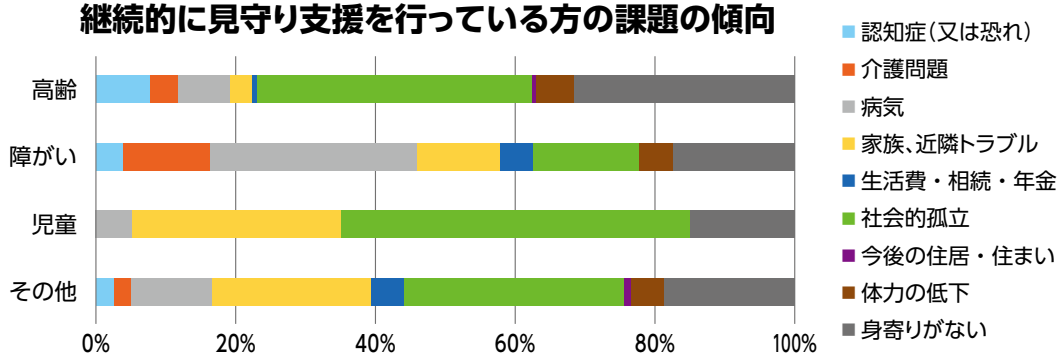
地域で支える支援

息子が長年にわたって引きこもっていた。妻も数年前から認知症を発症したことから、夫に重い負担がかかっていた。妻が、週5日のサービスを利用できることとなって、日中の負担は少し軽くなったが、夜中にも大声を出すなど、体力的にも精神的にも負担は大きいようだ。定期的な訪問と見守りを継続している。

話を聞く支援

車イス生活の方を、高齢者の家族がお世話していたが、転倒させてしまったり、家族がひどい腰痛になったりした。訪問時に、福祉サービス等の情報を提供するとともに、近隣住民にも手助けしてもらいながら、日頃の愚痴等も聞くよう努めている。

継続的に見守り支援を行っている方の課題の傾向



令和4年徳島県内・全民生委員児童委員アンケート
「地域における相談活動と包括的支援体制に関する調査」結果から一部抜粋

～令和6年度新任職員研修に御参加いただいた皆様へ 横系でつながろう！～

ヨコイト座談会 令和6年12月13日(金) 13:30～16:00(会場:フランアンジュ)

定着
支援
事業

福祉のお仕事探しをサポート

徳島県福祉人材センター



徳島県内の福祉のお仕事の求人登録・紹介斡旋・再就職のためのセミナー等を開催しています。是非ご利用ください!



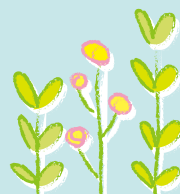
TEL: 088-625-2040

〒770-0943 徳島県徳島市中昭和町1丁目2

徳島県社会福祉協議会 徳島県福祉人材センターアイネット



ふくしと私



社会福祉法人 阿南淡島会
障害者支援施設淡島学園

生活支援員 谷村 たにむら

昌洋 まさひろ

阿南市の社会福祉法人障害者支援施設淡島学園に就職して8年目、生活支援員、社会福祉士として福祉に携わらせていただいています。

私にとって「ふくし」とは人生そのもの、人生を共に過ごすことだと思っています。

昔、両親から「弟ができるよ。」と告げられました。私は自分に弟ができるととても喜びました。そして弟が生まれ



食事前の利用者の方々の点呼の様子

「君にぴったりの仕事がある。君には僕のような仕事を将来就いてもらいたい。君は福祉の心を

て数年経ちました。言葉を通してくれませんでした。「どうして弟は僕としゃべらないの？」親は泣いていました。「自閉症」初めてその言葉を聞いた瞬間でした。「そんなもの自分がいつか治すから。」と言いました。数年後、弟が小学校に入学しました。すると友達から「君の弟、怖い。」と言われるようになりました。一人で別の学級に通い教室で奇声をあげ跳んでいる存在。友達の抱いた感情を否定できませんでした。「なぜ弟はよくならない、もう一生このままか。」と泣きました。

持っている。」その言葉で自分は福祉の勉強を始めました。卒業文集には福祉職になって多くの人を救うと書きました。

高校時代にオーストラリアのケアンズにある語学学校に留学しながら医療福祉コースを選び、他国の学生と福祉の話題で交流しました。愛知県の中京大学では本格的に福祉の勉強をするために社会福祉課程を選択しました。座学だけではなく実際の福祉の現場を知るために児童養護施設に住み込み、支援の手伝い等をしていました。

今の職場である淡島学園には弟と同じく障がいがある人たちが暮らしています。今も弟は言葉があまり話せません。自閉症が治るといふ事はないのかもしれないがこれからも大切な家族に変わりはありません。



食事前の消毒の様子

社職になりました。辛いこともある。苦しいことも悩みも失敗もある。それでも多くの人と協力しながら、喜怒哀楽を日々享受し人生を共に歩める。福祉職は私にとって天職です。

私を支えてくれている皆様へ。私は今までもこれから「ふくし」と共に生きていきます。これからも福祉の世界で頑張りたいと思います。

地域とお客さまの「ベストパートナー」へ

阿波銀行
http://www.awabank.co.jp/

ともに未来へ
～ to the future with ... ～

徳島大正銀行
トモニホールディングス

四国の災害伝承と防災ゲーム

まつしげ まや
徳島大学 環境防災研究センター 助教 松重 摩耶



1. 四国の災害伝承を知ろう

このコーナーでは、徳島県での災害についての話や楽しく災害を伝えるための防災ゲームを紹介させていただきます。第1回目では、先人の工夫や知恵に学ぶ「四国防災八十八話」マップの中から徳島県内の水害に関するお話を、第2回目では地震・津波に関するお話を紹介させていただきます。第3回目以降では、これらを普及啓発するためのツールとして防災ゲームを取り上げます。

防災を手軽に楽しく学ぶ一歩として、近年多くのボードゲームが開発されています。どんなものがあるのか、入手可能なものを全て取り寄せた結果、59種類のゲームを集めることができました(写真1)。それら全てのゲームを自分たちでやってみた結果を踏まえて、みなさんにおすすめしたい防災ゲームの紹介をします。

2. おすすめの防災ゲーム

① 地域防災の中で役立つゲーム

災害対応の場面では必ずしも正解がある場面ばかりではなく、判断に迫られる場面があります。そのような場面を体験できるのが「クロスロード」というゲームです。判断やその理由を述べあうことで多様な視点に気付くことができます。ゲーム終了後に実際の事例ではどのような判断があったのか調べてみると学びが深まります。また、「避難所運営ゲームHUG」は、避難所の運営を疑似体験できるゲームです。避難所に避難してくる人々や、支援を提供する団体等にどのように対応すればよいのかを学ぶことができます。さらに、「災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲーム(災害VCMSG)」では、被災者のあらゆるニーズに対して、多様なボランティアをどのようにマッチングしていけばよいのか、災害支援活動を疑似体験することが出来ます(写真2)。



写真2：災害VC MSGをしている様子



写真1：59種類の防災ゲーム

② 大人と子供と一緒に学べるゲーム

「なますの学校」では、地震により引き起こされるさまざまな問題が紙芝居形式で提示されます。参加者は手元のアイテムカードを用いてそれらの問題を解決する方法を考えます。優れた解決策やアイデアを提案した人には、「ナマーズ」紙幣が授与され、ゲームの終了時に最も紙幣を多く持っている人が勝者となります。豊富なイラストが用いられているため、子供たちでも状況を容易にイメージすることができ、事前の備えの大切さと、災害時には臨機応変に対応しなければならぬ場面があることを知ることができます。

文字が読めない幼児のためには、「防災ダック」があります。このゲームは、イラストや親の動きを見ながら繰り返し学べるゲームで、危険な状況に遭遇したときのთვისの判断を、実際に身体を動かし、楽しみながら学ぶことができます。

3. 防災ゲームの学びを深めるためには？

ゲームを実施したあとに「明日から取り組んでみたいことを宣言し合う」「実際の災害現場ではどうだったのか調べてみる」「教訓にするべきことを考えてみる」などの振り返りをみんなで実施すると、より学びを深めることができます。地域防災や、家族防災の一助にすることが出来ます。防災ゲームを活用して、楽しく防災を始めるきっかけにしてみませんか？



写真3：なますの学校(左、右下)、防災ダック(右上)

ありがとうございます

預 託

- 徳島県軽自動車協会様よりつるぎ町社会福祉協議会及び徳島県社会福祉協議会へ軽自動車の御寄贈
- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン様よりつるぎ町社会福祉協議会及び佐那河内社会福祉協議会へ店舗改装等に伴う在庫商品の御寄贈
- 公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様より障害者支援施設有誠園へ手打ちそばの技術奉仕活動
- 全国農業協同組合連合会徳島県本部様並びにJA徳島農政協議会様より各児童養護施設へ新米と飲料の御寄贈

あの頃の川を目指して



大久保谷川クリーンクラブ

阿波市阿波町の中心を流れる大久保谷川。

以前はホタルが飛び交っていましたが、次第に粗大ごみやペットボトル等の不法投棄が目立ち始め、景観や安全に悪影響を及ぼすほどになりました。

平成5年6月、住民有志が大久保谷川クリーンクラブを設立しました。皆の想いは一つ。「大久保谷川の豊かな自然を子どもたちに残したい」

毎月実施するごみ回収や草刈り、清掃活動をはじめ、植樹、広報誌の発行、アドプト・プログラム吉野川への参加等が功を奏し、近年は新たに廃棄されるゴミの量が減少してきました。この実績は高く評価され、『地域環境美化功労者』と

して環境大臣表彰の受賞等、様々な表彰を受けられました。

「課題は高齢化による会員の減少です。皆が集まって活動できなくても、自宅付近の散歩ついでにゴミを拾うだけでもいい。クラブに籍を置いてくれるだけでも、意味があります。」(兼松会長)

会員が活動を楽しめるよう、寄せ植えや藍染め等の研修や日帰り旅行も取り入れています。

流域にいくつも設置された、ごみ捨て防止の手書き看板。親しみのある様々なイラストが描かれています。大久保谷川を愛する方々の象徴です。

(令和5年度厚生労働大臣感謝状)



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任	特定感染症		補償開始日から補償(*)		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)